

関や最寄りの保健所まで相談してください。

4. 検出された薬物について

1) シブトラミン

○肥満症治療剤（国内承認なし）

適応：肥満症の治療（肥満における体重減少及び体重減少の維持）

副作用：頭痛，口渴，便秘，不眠及び鼻炎等

その他：米国の添付文書に警告として、「血圧及び心拍数の増加」が記載されている。

2) マジンドール

○食欲抑制剤（麻薬及び向精神薬取締法 第3種向精神薬）

適応：食事療法、運動療法の効果が不十分な高度肥満症

副作用：口渴感，便秘，悪心・嘔吐，睡眠障害，胃部不快感等

重大な副作用：薬物依存性，肺高血圧症

常用量：成人1日1回0.5mg、最高1.5mgまで

5. 今後の対応

これらの製品については、国及び関係都道府県において調査、販売中止等の必要な措置を行うとともに、同様の事例についての取締りの強化、再発防止に努めることとしています。

参考資料

- (1)厚生労働省国民健康・栄養調査報告：令和元年
- (2)新看護学3 専門基礎3 食生活と栄養 (株)医学書院 2017.2.1 p.258-261
- (3)肥満と健康 | e-ヘルスネット（厚生労働省）<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/food>
- (4)羽田 裕亮、山内 敏正、門脇 孝：日本内科学会雑誌 104 巻 4 号 735-741、2015
- (5)PMDA：マジンドール(サルレックス)の概要：添付文書(効能・効果、用法・用量)
- (6)セチリストット(オプリーン)の概要：出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』
- (7)厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課（平成17年5月24日）通知